

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

平成30年7月6日(金)

第9号

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

”Once we share goals, we are all brothers and sisters!”

過去の自分を恥ずかしいと思うのは、いまの自分が成長した証です。(前に進む勇気を！)

世界3位のベルギーに惜しくも2-3で惜敗！8強逃しました。(7月3日)

サッカー部員が130名を占める本校にあって通り過ぎる教職員・生徒の皆さんの目が「あれ、今日はウザギの日かな？」と思うほど目が真っ赤でした。乾貴士選手、原口元気選手の得点も見事でした。西野監督の「2-0から敗れるのは選手に非はなく、自分を問いたい。」と責任を背負った監督の言葉に校長は感動しました！これで、またまた、本校サッカー部平安山監督のマグマが・・・「アッチーアッチー！チャ-ガクッターヨーナー」これはイヌ(イ)の遠吠えでも空元気でもないようです！ヨッシャー

◇学校行事、大会結果、イベント等

- 男子ソフトテニス部：ハイスクールズジャパンサッカー大会結果：稲福蓮音サッカー1回戦敗退 稲福蓮音・山田裕也組予選リーグ0-2で敗退しましたが、内容は全国ベスト4レベルの選手達と互角だったとのこと。(喜舎場先生)
- 大城もえなさん(3-7) 南城市海外短期留学選考会に合格しました。派遣期間 7/13 ~ 8/2 ワシントン州立大学で研修することになります。南城市に在籍する高校生ともしっかり交流されて下さい。
- 6月23日慰霊の日に関東初協合理事として今年も参加しました。糸満市役所から摩文仁までの8,5キロ(約16,000歩)を多くの団体の皆さん(平均年齢70才以上?)と歩きました。テ-グでした！ハ

●校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきませんか？

- 図書館「慰霊の日」展示コーナー(6/23 平和資料展)、図書委員の皆さんの頑張りで見事に仕上がっています。「沖縄戦」「基地問題」関連ブック、慰霊の日に関する地元紙、本土紙読み比べ編、生徒作品(ユニーク条約等)校長は他県の図書館にも足を運びましたが、本校図書館は全国トップクラスです！
- 夏期講座開設予定が昨年よりも10講座増えています。生徒の皆さん、「一歩踏み出す勇気」ですよ。津留健二元教育長の著書(教職の道に生きて)によれば本県の課題の一つは「一人勉強が不得意」とあります。(他に「けじめある生活と根気強さ」)ぜひ、「いい日旅立ち」進路駅(部)へ、ゴー-！(ウソザンカイガヨー マズ！宮古林ゲト-)
- 家庭科の調理実習の時間(4日の3校時)懸命に調理する生徒の姿がありました。比嘉雅美先生の手招きがあり、「検定なんです。40分で2品作るんですよ！」本校の未来は限りなく明るいぞー！

武辺話(「百聞は一見にしかず」)

3日(火)16:15 視聴覚教室において国際人文科海外研修保護者会が行われました。校長挨拶で、「英語学習を授業の枠から日常的使用に移行させることが求められている昨今、海外研修はその代表的な取り組みだと考えています。さて、昨年、この場におられる稲嶺先生と神里先生と共に、オーストラリアのメルボルン研修に参加しました。研修を終え、沖縄ツリストやISAの関係者から『ホームステイ先からコミュニケーションや生活態度が毎年良くなっている、今年は特に素晴らしいですね。』とお褒めの言葉をいただきました。是非、今回もそれ以上の高い評価を受けてほしい。校長は大学時代、人類学の先生から、「若い頃に東南アジア、とりわけ、人類最後の楽園といわれるインドネシアのバリ島へ行ってほしい」と助言をいただきました。あまりに熱く語るその姿に感銘を受け、2年後、実際に応募し、大学の船でパオ、オーストラリア、セブ島、台湾への洋上研修に参加しました。その時、各国若者の生き生きとした姿に感動するとともに、私は沖縄県はもとより、家族を愛し、誇る心を持つようになりました。それらの体験に触発され、その後多くの海外研修等に応募し、ポ-ランド、スイス、フランス、ドイツ、モリル、上海、北京、香港、アムステルダム、ソフィア、モスクワ、ヒューストン等を研修する機会に恵まれました。生徒の皆さんは、今回の研修を通して海外を見るとともに、常に他国の事情にも関心をもち、グローバルな人材になるきっかけにしてください。」と挨拶の中で述べさせていただきました。結びに30年前に会った東南アジアの青年の言葉が今でも忘れられません。「10、20年後のインドネシアを是非、見て下さい。」(必ず、素晴らしい発展を成し遂げます！)

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。(能代工高バスケット元監督 加藤廣志氏)